

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月）

留学先：釜山外国語大学

氏名：松井春香

4月になり、少し肌寒い日が続いていますが、だんだんと暖かくなってきました。上旬にはいたるところで桜が満開を迎え、まさか釜山で桜が見られるとは思っていなかったのが感動しました。今月の報告書では授業について紹介していきたいと思います。

◆ 授業について

	月	火	水	木	金
1					
2	Western History				Nationalism and Globalization
3	Western History				Nationalism and Globalization
4					
5					
6	Diplomacy		Diplomacy	Diplomacy	
7		言語タンデム			文化タンデム
8		言語タンデム			文化タンデム

上にある図が釜山外国語大学での時間割です。5科目中3科目は英語開講科目です。釜山外国語大学の1科目の単位は3単位、授業時間は1コマ50分です。1科目3単位なので、多くの授業は1科目につき週3コマの授業があります。ですが、私の場合Diplomacy以外の授業は2コマしかないので1コマ分はオンラインでの授業や報告書の作成で補っています。このことについてこれから詳しく説明していきたいと思えます。

➤ 出欠の取り方

福井大学では学生証のカードリーダーに通して出欠を確認する場合がありますが、釜山外国語大学では授業開始時に先生が毎回スマートチェックと呼ばれるアプリで出欠を取ります。そのため、学生もこのアプリをダウンロードする必要があります。このアプリでは自分で出欠の確認や、時間割の確認もできるのでとても便利です。



▶ 英語開講科目について

時間割からも分かるかと思いますが、Western History, Diplomacy, Nationalism and Globalization この3つの科目は英語開講科目です。この授業を受講している学生のほとんどが韓国人学生ですが、留学生も数人います。Western History と Nationalism and Globalization、この2つは教室での授業に加えてフリッパーニングというオンライン授業を受けます。福井大学の学生ポータルと似たサイトで釜山外大には E-class というものがあり、このサイトでオンライン授業を受けます。授業といっても、E-class に上がっている映像を見ながらノートをとったり、課題が出されるので授業の予習として活用するようなものです。映像は繰り返し見ることができるのでとても便利です。

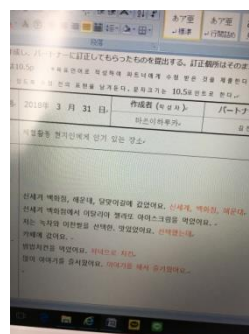
▶ タンデムについて

私が取っているタンデム授業は韓国人学生と日本人学生が2人1組のペアになって行う授業で、毎週自分たちで学習テーマを決めて主体的に学習を進めていくものです。言語タンデムは日本人学生は必修科目です。言語タンデム、文化タンデム共に授業の振り返りとして学習日誌を提出します。学習日誌は目標



言語で作成しなければならないので日本人は韓国語、韓国人は日本語で作成します。また、作成した学習日誌は間違えている部分をパートナーに訂正してもらってから提出します。私は韓国に来た時はハングル文字

も読めなかったため学習日誌の作成がとても大変でした。そしてどちらのタンデム授業にも体験学習があります。言語タンデムでは自分たちでテーマを決めて、そのテーマに基づいてフィールドワークに行きました。私の場合、観光地を巡りました。他のペアは占いにいたり、カフェ巡りをしたりしていました。



文化タンデムの方は、授業を受けている学生全員で、大学の近くにあるお寺へ行きました。また、日本と韓国の伝統的な遊びも体験しました。タンデム授業は韓国語だけでなく韓国の文化を学ぶこともできる上に韓国人の友達もできるので、とてもおすすめです。

今月の報告書では授業について詳しく説明していきましました。私が所属しているサークルの紹介もしたかったのですが、書ききれないので次回の報告書で紹介したいと思います。